

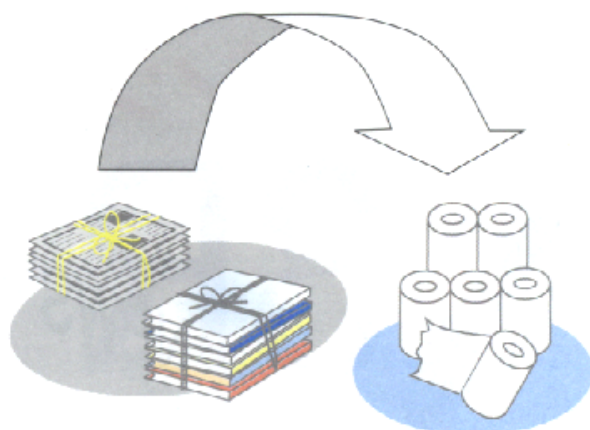


チャレンジ・3R特集

資源集団回収の推進に向けて

市内で発生する古新聞、古雑誌等の再資源化については、市内の町内会や自治会、PTA等の協力により資源回収業者を通じて資源物の回収・リサイクルを行う「資源集団回収」事業が行われており、資源集団回収事業による資源化量は約2万6千トン（平成18年度実績）にのびります。

川崎市では、資源集団回収団体等に助成金を交付するなどして、資源集団回収事業のより一層の推進に努めています。



平成18年度の資源集団回収実績（速報）

平成18年後期分の回収量は平成17年後期分と比べて新聞回収量が減少したため、合計で383tの減少となりましたが、雑誌、ダンボール、古布類に伸びが見られました。活動団体数は35団体増えているので、今後、資源集団回収によるリサイクル量の増加が期待されます。



		平成17年後期	平成18年後期	増 減
古 紙 類	新聞	17,903 t	17,218 t	▲685 t
	雑誌	5,590 t	5,714 t	124 t
	ダンボール	2,691 t	2,804	113 t
	牛乳パック	44 t	23 t	▲21 t
	その他	3 t	3 t	0 t
	（古紙類計）	26,232 t	25,763 t	▲469 t
	古布類	279 t	365 t	86 t
	生きびん類	15 t	15 t	0 t
	回収量総計	26,526 t	26,143 t	▲383 t
	回収団体数	999 団体	1,034 団体	35 団体

区別回収量の推移（平成16年～18年）

